

新しい三小教育を目指して

河内長野市立三日市小学校
校長 北野 良和

～全国学力・学習状況調査・すくすくテストの結果を受けて～

4月18日(火)に全国の小学6年生・中学3年生を対象に「令和5年度全国学力・学習状況調査」が実施されました。また、大阪府の小学校5年生・6年生を対象とした「小学生すくすくテスト」も4月21日(金)に実施されました。

これらの結果(今回は6年生を中心に)を全教職員で分析・考察をし、本校の児童の傾向・実態把握をいたしました。そして、それらをもとに今後の三日市小学校の新しい教育に全教職員一丸となってつなげていきたいと考えております。

また、最後には調査結果を受けて、(1)学校が重点的に取り組んでいくこと、(2)児童のみなさんに取り組んでほしいこと、(3)保護者のみなさまに協力していただきたいことを記載しておりますので、ご一読よろしく願いいたします。

①全国学力・学習状況調査の結果

【国語】

概要

全国や大阪府に比べて正答率が高く、中央値が高い。本校の平均正答率は71%で、全国平均・大阪府平均に対して、5ポイント程度上回っている。全体の正答率は全国を上回っているが、特に「書くこと」への正答率が低い傾向がある。

また、全体的に無回答率も高く、学習に対する意欲・関心に差があることが分かる。

特に成果が見られた問題例

- 全体的に無回答率が高かったものの、記述式問題では無回答率が低かった。自分の考えを書いたり、まとめたりすることが他教科でも行われ、書くことへの抵抗感が少なかったのではないかと考えられる。
- 昨年度は、漢字の問題で全国平均より10ポイントも低い問題があった。しかし今年度は、漢字の問題3問とも全国平均を上回った。日々の漢字学習の取り組みによる成果である。

特に課題が見られた問題例

- 全14問ある中で、無回答率が全校平均を上回ったのが10問もあった。知識を問う問題での無回答率が目立った。空白を作らず粘り強く解くということを普段から積み重ねる必要がある。
- 記録や情報を読み取り整理して説明されたものを選択する問題では、全国や大阪に比べて唯一下回っている。資料を熟読して考察しないといけないので、やはり読み取る力が必要となる。日頃から、他教科にわたり資料を読み取る経験を積み、ねばり強く問題に取り組む意識をつける。そのためには、様々な文章に触れておく必要がある。

【算数】

概要

平均正答率は全国平均・大阪府平均を6ポイント上回る結果であった。分類においても、「変化と関係」の項目以外は全国・大阪府の平均を上回る数値であった。特に「記述式問題形式」は、大阪府と比べてすべて10ポイント以上上回っており、普段の授業で自力解決の時間をとり自分の言葉で書く経験を積み重ねてきたことが、成果として表れてきていると考えられる。

特に成果が見られた問題例

- 図形の領域において、正答率が58.3%であり、大阪府と比較すると10ポイント高かった。
- 図形の面積の大小についてわかることを選び、選んだ理由を記述する問題では、三角形の底辺の長さ、高さについて整理し書くことができている児童が大阪府よりも12.4ポイント高かった。普段の授業で自分の考えを発表する学習活動が成果に結びついている。

特に課題が見られた問題例

- 比例について理解しているかの問題では、表からの情報を読み取ることにつまづいている児童が多かった。
- 百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる問題では、正答率は低かったが、無回答は全国と比べ2.4ポイントと低い。100に対する30は答えられたものの、10に対する3を答えられていない児童がいた。

②すくすくテストの結果

【理科】

概要

平均正答率が大阪府よりも4.3ポイント上回る結果となった。観点別で見ると、知識・技能は+5ポイント、思考・判断・表現は+2.8ポイントである。大阪府よりも全体的に高いことが分かる。

特に成果が見られた問題例

- 空気と体積の関係を問う問題では、閉じ込められた空気が押されることで体積がどのような変化をするか、よく理解できていることが分かる。
- 月の観察について問う問題では、日ごろから実験を行う際に、観察カードをまとめる際のポイントとして、何について書けばよいかという点をおさえていることが分かる。

特に課題が見られた問題例

- 電気の回路の問題では、正答率は大阪府平均よりも高いが正答率としては低い。4年生のときにキットを使って実験をしているが、直列つなぎと並列つなぎのときの電球の明るさについての基礎的な知識が定着していないと考えられる。
- 気象衛星の雲画像とアメダスの降水量の画像から、今後の天気の変化について考察する問題では、方角(東西南北)が定着していないことや、天気の移り変わる仕組みが理解できていないことが分かる。

裏面もあります。

【わくわく問題】

概要

平均正答率が大阪府はよりも6.6ポイント上回る結果となった。多くの問題は正答率が大阪府より高く、無回答率も低い。また、記述式の問題でも無回答率は大阪府に比べて低かった。

特に成果が見られた問題例

- ・記述式の問題は、例や条件を読んで自分なりの意見を持って書くことができ、書くことへの抵抗感が少なかったのではないかと考えられる。

特に課題が見られた問題例

- ・論理的に思考(プログラミング的思考)し問題を発見・解決していく力を育むことを目的とした問題では、大阪府に比べ正答率が低かった。問題から資料を選び、問題を解決するためにどのようなロボットを作りたいかを書くことはできていたが、資料の中からどのような問題があるかを表現できなかった児童が半数以上いた。

③児童質問紙の結果(児童の実態がよくわかるものを抜粋)

成果

- ・「朝食を毎日食べている・毎日同じくらいの時刻に就寝、起床している」に肯定的に答えた児童が、いずれも全国・大阪府の割合よりも高く9割近くおり、生活習慣は良好の児童が多い。
- ・友達関係に満足しているかの質問は、肯定的な回答が、全国と比べ、17.4ポイント高かった。
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるかという質問は、肯定的回答が全国と比べ、12.1ポイント高かった。
- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」では、肯定的な回答の割合が72.2%であり、大阪府や全国と比べても10ポイント上回っていた。
- ・「家で自分で計画を立てて勉強をする」では、肯定的な回答している児童が7割を超えていた。

課題

- ・「自分には、よいところがあると思いますか」という問いで、大阪府や全国の平均に比べ肯定的な回答の割合が低くなっている。自己肯定感が低いことが分かる。
- ・英語の勉強は好きですかの問題では、当てはまる児童の割合が全国・大阪府と比べ、約18ポイント下回った。
- ・「将来の夢や目標を持っているか」の質問には、全国・大阪府よりも否定的な回答の割合が高かった。
- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の質問には否定的な回答の割合が全国・大阪府よりも低いが、校内全体では3割を占めていた。

④調査結果を受けて

(1)学校が重点的に取り組んでいくこと

- ・資料を見て解く問題や条件をつけて記述する問題が弱い傾向にあり、資料を読み取る力や条件付きの記述に課題があります。すべての教科において資料の読み取りを導入するなど、資料を読むことに慣れさせるようにします。
- ・無回答率が全国平均を上回っているため、自分の回答に自信をもたせません。そのためには、【褒める】・【認める】・【高め合う】学級を目指し、児童の自尊感情を高めます。
- ・学習における既習事項をその時間だけに留めることなく、実生活で活かされている場面を紹介し、思考力を深めます。
- ・粘り強い指導を継続し、児童の伴奏者として寄り添い、一人ひとりを支援します。
- ・学校でICT機器を積極的に活用し、ICT機器の持ち帰りをさらに実施します。

(2)児童のみなさんに取り組んでほしいこと

- ・学習内容を身に付けることと生活習慣はつながっています。引き続き、規則正しい生活をこころがけましょう。合言葉は「早寝・早起き・朝ごはん」です。
- ・わからないこと・不思議なこと・疑問等はそのままにせず、自分で調べたり、先生やお家の人に聞いたりしてみましょう。あきらめないことが大切です。
- ・学級での話し合い活動は、自分の考えを深め、広げることができます。自分の意見を積極的に発言してみましょう。
- ・「自主学習コンテスト」や「自主学習強化週間」は、「家庭で自主学習をする習慣」がどんどん身に付いていきます。どんなことでもいいです。好きな学習を見つけてみましょう。

(3)保護者のみなさまに協力していただきたいこと

- ・上記でも記載しましたが、学習内容を身に付けることと生活習慣はつながっています。お子さまの規則正しい生活は保護者のみなさまのご協力は必須です。引き続き、ご支援・ご協力の程よろしくお願ひします。
- ・宿題や家庭学習で困っているときは、声かけやご支援をよろしくお願ひします。
- ・学んだことが実生活で活かす、または活かされている場面を見ると学習に深みが出て、忘れにくいです。是非とも、学習内容と実生活を結びつけられる声かけをお願いします。(例)・商品の割引・天気について・都道府県名・草花の名称・交通標識の漢字やローマ字等
- ・学校と家庭の連携はお子さまの成長には欠かせません。何か気になること、困っていること、うれしかったこと等、是非教えていただけるとありがたいです。どうぞよろしくお願ひします。
- ・最後に、全国学力・学習状況調査・すくすくテストで読み取れることはお子さまのほんの一面です。苦手なことのみを目を向けず、できていること、得意なことを伸ばしていくような声かけをどうぞよろしくお願ひいたします。